

## 今後の進め方について

---







# 協議会の進め方

担当者会議  
(H31.1.23)



第1回  
(R1.6.5)



第2回  
(8月頃)



第3回  
(10月頃)



以降～

## ○モデルルートの検討

- ・県と国、市町が連携し、モデルルート(案)を検討
- ・既存サイクリングルートやサイクリングイベントのコースを参考に安全性、快適性に配慮
- ・広域連携(県内・県外)ルートについても検討

## ○モデルルートの決定

- ・サイクリストを惹きつける魅力があるか
- ・地域の景観、観光資源を活かしたルートか
- ・魅力ある広域連携ルートか

} 確認

## ○取組内容の検討

- ・走行環境の改善
- ・受入環境の充実
- ・情報発信
- ・インバウンド対策(多言語化等)

## ○取組み内容の決定

- ・持続的な取り組みを推進するための体制、役割分担
- ・関係者が連携し、実施スケジュール作成

## ○取組内容の進捗状況確認のため、年1回程度で協議会を開催

※ 協議会の開催に先立ち、担当者会議を開催し、詳細な検討作業、調整を実施



# モデルルートにおける取組内容の考え方

## 視 点

安全面の不安

道に迷う不安

走りやすい（少ない交通量・信号）

適度な距離・達成感

起伏に富んだ道路（坂と平坦部）

良好な景観・豊かな自然

休憩施設の不足

自転車の持込方法の確保

トラブル発生時の対応

おいしい食事、魅力あるお土産

豊富な観光施設

サイクリスト向け情報の不足

## 取組内容（案）

### 自転車走行環境

走行空間の確保  
(路肩拡幅、自転車レーン等の整備)

案内サイン、距離標、路面表示  
注意喚起サイン

### サイクリスト受入環境

ビューポイントの整備

拠点の整備（道の駅等）

食事・休憩・宿泊施設の充実

自転車輸送手段の確保  
公共交通（バス・旅客船）との連携

トラブルサポート体制の充実

### 情報発信

サイクリスト向け施設情報の提供

受入施設の現地案内表示  
(旗、ステッカー等)

## 進め方（検討方法）

「ナショナルサイクルルート」の指定に向けた取組を検討

**ルート診断**  
(走りやすさの評価)

- ・次回、具体的な取組内容について検討・協議

**現況調査**  
(施設配置、受入対応の状況等)

**先進事例調査**

- ・次回、具体的な取組内容について検討・協議

**先進事例調査**

- ・次回、具体的な取組内容について検討・協議



# 取組内容のとりまとめについて

## ◆「サイクルツーリズムの推進に向けた具体的な取組」のとりまとめイメージ（一覧表）

### 取組 1 自転車走行環境の改善

取組の具体的な内容	実施箇所等	実施年度	実施主体
〇〇〇〇の整備	〇〇〇〇	20〇〇～20〇〇	県、市
〇〇〇〇の設置	〇〇〇〇	20〇〇～20〇〇	〇〇、〇〇

### 取組 2 サイクリスト受入環境の充実

取組の具体的な内容	実施箇所等	実施年度	実施主体
〇〇〇〇の整備	〇〇〇	20〇〇～20〇〇	〇〇、〇〇
〇〇〇〇	〇〇〇〇	社会実験	〇〇、〇〇

### 取組 3 サイクリストへの情報提供の強化

取組の具体的な内容	実施箇所等	実施年度	実施主体
〇〇〇〇	〇〇〇〇	20〇〇～20〇〇	〇〇、〇〇
〇〇〇〇	〇〇〇〇	随時	〇〇、〇〇

※ 取組内容が具体に分かるように(誰がいつまでに何をするのか)整理する。  
図面は、ルート全体を示したうえで、整備箇所がわかるようにまとめます。



# 自転車活用推進計画への位置づけについて

## 「兵庫県自転車活用推進計画（仮称）」への記載イメージ

### サイクルツーリズムの取り組み（浜名湖一周サイクリングルート“ハマイチ”）

○浜名湖におけるサイクリングを推進し、国内外から環浜名湖地域へサイクリストの誘致を図り、サイクリング観光の活性化することを目的として、浜名湖サイクルツーリズム推進会議を平成27年に設置。

浜名湖サイクルツーリズム推進会議

- ・情報発信や受け入れ態勢の整備等を実施（作業部会やワーキンググループを実施）
- ・メンバー（観光・自転車協会等、鉄道・船運・道路事業者、新聞社、大学、行政等）

**快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備**

- 自転車走行空間の整備**
  - ・2017年より自転車走行空間整備を実施【2020年（オリンピック）までを目標】
  - 矢羽根（青色）の設置
  - 自転車ピクトグラムの設置
- ルート案内サインの整備**
  - ・2018年から路面表示及び自立型サインの整備を実施【2023年までを目標】
  - 路面表示：走行中のサイクリストを誘導
  - 自立型サイン：目的地までの案内や誘導、方向を伝える





**サイクルツーリズム推進のための取組**

- バイシクルピット（68施設）とサイクリストウェルカムの宿（26施設）の認定
- レンタサイクル（8箇所、合計185台）  
※施設数、箇所数、台数はいずれも（H30.3末）時点
- 「ガイドライド」や「大試乗会」等のイベント開催
- 鉄道や船へ自転車を積み込む「鉄道や舟運との連携」
- 情報発信（ホームページ、SNS、サイクリングマップ等）









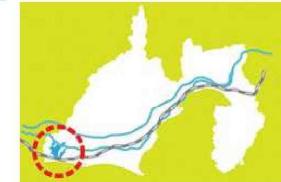
ハマイチ走行台数（人数）（推計） 約5万人【2017年】

凡例

ハマイチコース（浜名湖一周）

自転車走行空間整備状況

- H29年度整備完了（約34km）
- H30年度整備予定（約31km）
- H31年度以降整備予定（約2km）



<天竜浜名湖鉄道>

有人駅間で、専用輪行バッグを無料で使用可能



全長約67km

静岡県・浜松市作成資料

→ 本協議会の「最終とりまとめ」の概要版を記載する

資料：自転車活用推進本部

4